

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 第19回特別企画展の開催報告

平成30年度の特別企画展は「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」と題して、主に沖縄県民が戦争によって受けた被害について展示しました。展示は3部構成で、第1部「打ち砕かれた沖縄」では日米両軍の凄まじい戦闘によりあらゆるものが破壊された沖縄の姿をみていただきました。第2部「沖縄県民の戦争被害」は、今回の特別企画展の中心として、「命を奪われた人びと」「生きぬいた人びと」「物的被害」の3つの側面から沖縄戦による戦争被害について展示しました。最後の第3部「次代への継承」では、沖縄戦の体験を次の世代に伝えるための様々な取り組みについて紹介しました。これらの展示を通じて、戦争がおこると犠牲になるのは多くの一般住民であることを認識してもらうとともに、戦争の体験や教訓をどのように継承していけるのかを考えていただく機会としました。

### 1 名称：第19回特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」

2 開催期間：平成30年10月8日(月)～12月9日(日) 沖縄県平和祈念資料館  
平成31年1月19日(土)～2月24日(日) 八重山平和祈念館

### 3 展示内容：

#### 第1部 打ち砕かれた沖縄

1 沖縄戦前夜 2 沖縄戦 3 破壊と殺戮

#### 第2部 沖縄県民の戦争被害

1 命を奪われた人びと 2 生きぬいた人びと 3 物的被害

#### 第3部 次代への継承

1 今なお癒えぬ戦争の傷 2 沖縄戦の継承  
3 平和のメッセージ



## 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」

平成30年度特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」の関連催事として特別講座が下記の日程で開催されました。今回の特別講座では、戦後の沖縄の教育の研究や平和教育に携わるとともに、沖縄戦の継承に取り組んでいるの方々をお招きし、いずれ訪れるであろう“戦争体験者のいない社会”の到来を踏まえ、沖縄戦の実相や体験者の思いを語り継いでいくための取り組みを紹介していただくとともに、シンポジウム形式で、今後の社会の変容を踏まえた平和教育の在り方等について意見交換をしました。

日時：平成30年10月21日(日) 13:10～16:30 場所：沖縄県平和祈念資料館大会議室(2階)

講師：名城大学教授 嘉納 英明 氏(特別講座講師、パネリスト)

パネリスト：南風原文化センター学芸班長 平良次子 氏、沖縄県平和祈念資料館友の会会長 安田國重 氏

ひめゆり平和祈念資料館学芸課長 古賀徳子 氏、沖縄県立読谷高等学校教諭 松田江利奈 氏

参加者：約60名



# 「戦世の記憶」 平和発信強化事業

沖縄県平和祈念資料館では沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを発信するために次の事業を行っています。

## 1. 未来に託す戦世の記憶展

当館が平成29年度に収録した70人の戦争体験者多言語証言映像(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレー語の8言語)を紹介し、沖縄戦の実相を多くの人に伝え恒久平和を考える機会として、①川崎平和館【平成30年7月28日～9月2日】②大阪国際平和センター(ピースおおさか)【平成31年1月17日～2月14日】において、特別展「未来に託す戦世の記憶展」を開催しました。

また、平成30年8月4日に川崎市平和館での③「平和を語る市民のつどい」の中で、沖縄県平和祈念資料館友の会会長の安田國重氏による、沖縄戦にいたる経緯や平和についての講話を行いました。



①川崎市平和館展示の様子



②大阪国際平和センター展示の様子



③平和を語る市民のつどいの様子

戦争体験者多言語証言映像

2. 戦争体験者多言語証言映像(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレー語の8言語)を当館WEBページにて配信予定(平成31年3月中旬公開予定)

## 平成30年度 第4回子ども・プロセス企画展 「君たちにおくる平和のメッセージ」

子ども・プロセス展示室「君たちにおくる平和のメッセージ」コーナーで紹介している7人の人物について、詳しく展示します。彼らが、その理想を実現するためにどのような行動をとったのかを学び、彼らの願いは実現できたのかを考えます。そして、平和な世界をきずくために、私たち一人ひとりができることは何かを考える機会とします。

〔期間〕平成31年2月15日（金）～5月15日（水）

〔場所〕子ども・プロセス展示室



## 平成30年度ギャラリー展

### ○第2回「児童・生徒の平和メッセージ 最優秀賞作品展」

第28回の最優秀賞作品を再展示し、沖縄の児童生徒が発信する平和のメッセージを多くの来館者に届ける場としました。

〔期間〕平成30年9月6日（木）～11月28日（水）

〔場所〕2階ギャラリー



### ○第3回 米軍記録写真が切り取った「沖縄の人びとの（破壊された）生活風景」

そのかけらを探して 一住居（民家）編一

米軍が戦時中に撮影した記録写真の中から、沖縄戦以前の沖縄の人びとの生活風景を読みとり、沖縄の人びとの戦前の生活に思いをはせ、その生活の場に戦争がきたことを感じてもらう場としました。

〔期間〕期間：平成30年12月6日（木）

～平成31年3月6日（水）

〔場所〕2階ギャラリー



## 平成30年度 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務を行う旅行・観光等に携わる関係機関の方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

〔日 時〕平成31年3月7日（木）13：30～17：00

〔場 所〕沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〔対 象〕タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者など

〔講習内容〕平和行政・資料館の概要（設立理念等）について

沖縄戦について

常設展示室・主な事業について

常設展示室・子どもプロセス展見学

館内案内・ポイント説明



# インターンシップ受け入れ報告

生徒・学生の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。

平成30年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から18名の実習生を受け入れました。体験した生徒・学生の皆さんが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。

## [学校名・人数・期間]

- ・沖縄県立沖縄水産高等学校 (3名) 7月10日(火)～7月12日(木)
- ・琉球大学 (2名) 9月3日(月)～9月7日(金)
- ・糸満市立糸満中学校 (3名) 10月30日(火)～11月1日(木)
- ・沖縄県立糸満高等学校 (3名) 11月7日(水)～11月9日(金)
- ・沖縄県立豊見城南高等学校 (3名) 11月14日(水)～11月16日(金)
- ・沖縄県立向陽高等学校 (3名) 12月12日(水)～12月14日(金)
- ・沖縄県立久米島高等学校 (1名) 12月12日(水)～12月14日(金)

## [実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・平和の礎周辺の清掃
- ・アンケートの集計作業
- ・展示資料の設置
- ・平和学習(平和講話・展示室見学・平和祈念公園フィールドワーク)



平和の礎の清掃



資料の整理作業

# 沖縄少年院連携事業

今年度より、沖縄少年院の院生を対象に平和学習の受け入れを始めました。これまで3回にわたり、のべ9人の院生に対し、平和講話や館内観覧案内、摩文仁の戦跡フィールドワークを実施しました。『沖縄戦を通して、平和・命について考える』と題した平和講話においては、沖縄戦に至るまでの経緯や沖縄戦の戦闘経緯、「人間が人間でなくなる」まで人を追い詰めてしまう戦争の惨劇を学習しました。健児之塔周辺のフィールドワークでは、沖縄戦当時、同世代の少年が学徒隊として動員され、過酷な戦場で生死をさまよったこと学び、平和な世の中を形成していくことの重要性を再確認しました。

## 県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何ができるかを考えるきっかけになるよう、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。年間を通して平和講話を実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては混み合いますので早めのご予約をお願いいたします。

### ○ 平成30年度平和講話実績(4月～1月)

団体	実施回数(昨年度比)	受講人数(昨年度比)
小学校	96回(+10)	7,496人(+117)
中学校	19回(+6)	2,608人(+257)
高等学校	14回(+5)	1,900人(+886)
特別支援学校	5回(+2)	221人(+16)
合計	134回(+23)	12,225人(+1,276)

### ○ 平和講話実施の様子(小学校)



## 平成30年度 友の会講話・ガイド活動実績件数 (平成30年4月～平成31年1月)

### (1) 平和講話・ガイド実績

団体	実施回数	実施人数	派遣講師
高等学校	63(県内5)回	12,345人	73人
中学校	55(県内11)回	7,696人	55人
小学校	22(県内20)回	10,243人	22人
その他	47(県内15)回	996人	47人
合計	187(県内51)回	31,280人	197人

(2) 常設展示室解説員 配置実績57人

(3) 平成30年度友の会総会 5月12日(土)

(4) 学習会：平和学習フィールドワーク 5月19日(土)  
「浦添城間アイテムポケットとマチナト飛行場」

(5) 川崎市平和を語る市民のつどい

「未来に託す戦世の記憶」：講師・友の会会長 安田國重氏

(6) 沖縄県立博物館・美術館 ゲゲゲの人生展 8月15日(水)

「沖縄戦を語る」：講師・友の会副会長 上原美智子氏

(7) 学習会：沖縄県平和祈念資料館特別講座 10月21日(日)

「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」

(8) 平和祈念財団 平和祈念公園愛護活動への協力

(9) 学習会：平和学習フィールドワーク 11月24日(土)

「終戦後の遺骨収集」：講師・大城藤六氏 翁長安子氏

# 八重山平和祈念館 平成30年度 事業実施報告

## (1) 「夏休み企画」(平和についての調べ学習コーナー等)

【期間】平成30年8月3日(金)～8月26日(日)

夏休み期間には、沖縄戦に関する本や本館で実施した特別企画展の図録等を展示し、子どもたちが沖縄戦について学ぶための学習コーナーを設けました。加えて、石垣島の慰霊碑等のパネルの展示や戦争に関するアニメの上映も行いました。



## (2) 「子どもと戦争 ～愛され、護られるべき小さき人たち～」

【期間】平成30年11月1日(木)～11月30日(金)

子どもをテーマに近代から現在までの学校制度の変遷や子どもたちの様子を年表や写真等をとおして展示しました。

特に戦時中の写真や当時の学校で使用された読本(複本)等を多くの方々が熱心にご覧になっていました。



## (3) 「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」八重山会場

【期間】平成31年1月19日(土)～2月24日(日)

本館で開催された特別企画展が八重山会場でも開催され、多くの方々が来場しました。

ここでしか見ることができない資料や映像をとおして、改めて沖縄戦の被害の実相を知り、次世代へどのように継承していくことができるのかを考えていただく機会となりました。



## 寄贈品紹介

### ○ 実物資料

8個人から9件で52点の資料寄贈がありました。

※平成31年2月5日現在

No	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H30.2.17	米軍発行の運転免許証 他	15	辺土名 朝久
2	H30.2.28	薬品瓶・ボンベ・米軍スプーン 他	9	仲村 真
3	H30.3.15	十五糎榴弾砲弾薬箱	1	町田 政勇
4	H30.3.18	米軍支給作業着一式 他	8	上江洲 亘
5	H30.4.19	米軍製コート	1	山城 昌樹
6	H30.12. 7	戦陣訓・身分証明証 他	10	真栄城 喜佐子
7	H30.12.10	短小銃・銃剣	2	玉城 弘
8	H31.1.4	陸軍賞詞・陸軍辞令書	4	仲盛 長秀
9	H31.1.14	陸軍予科士官学校制服 他	2	上江洲 亘

# 「世界青年の船」がやってきました。

平成31年1月31日に内閣府事業「世界青年の船」の一行が来館し、当館職員による平和講話を受講した後、館内外の観覧、グループディスカッションを行いました。オーストラリア、チリ、エクアドル、ギリシア、ソロモン、スウェーデン、タンザニア、アラブ首長国連邦、日本の40人が平和構築をテーマに熱い議論を交わしました。平和講話において、「過去の惨状の地が、今は美しい緑の場所になっている。悲惨な過去があっても、そこから未来をつくっていけるのだと感じた。」との感想があり、沖縄の平和を希求する人々のおもいや行動が平和構築につながることを認識したようでした。



平和講話の様子



OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM

## 沖縄県平和祈念資料館

### 平成31年度 年間スケジュール

Event Schedule  
2019.4  
▼  
2020.3

**開館時間**  
午前9時～午後5時  
(常設展示室への入室は午後4時30分まで)

**休館日**  
・年末年始(12月29日～1月3日)

**観覧料 (常設展示室)**

	個人	団体 (20名以上)
大人	300円	240円
小人	150円	100円

**住所** 〒901-0333  
沖縄県糸満市字摩文仁 614-1

**Tel** 098-997-3844

**Fax** 098-997-3947

**HP** <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

**Mail** [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)

### 企画展

4月	日 1 7 14 21 28	月 2 8 15 22 29	火 3 9 16 23 30	水 4 10 17 24 31	木 5 11 18 25	金 6 12 19 26	土 13 20 27	日 14 21 28	月 22 29	火 23 30	水 31	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
----	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------	---------------------	---------------	---------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 第29回 児童・生徒の平和メッセージ（図画・作文・詩）作品募集要項

### 1 募集対象

沖縄県内の小・中・高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

### 2 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名（フリガナ）、題名を必ず応募ラベルに記入する。

### 3 作品応募規定

<図画部門>

- 市販の画用紙（四つ切り、38cm×54cm）を使用する。
- 図画には文字のメッセージは入れない。
- 運搬や保管など取扱いが困難なもの及び立体作品は不可

<作文部門>

- 小学校1, 2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3, 4年生は3枚程度、小学校5, 6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出（代筆不可）する。\*特別支援学校及び特別支援学級については、枚数を特に指定しない。

<詩部門>

- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出（代筆

不可）する。

<作文・詩部門共通>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー（市販用紙を複製したもの）を使用しない。（小学校1, 2年生は200字詰め原稿用紙も可）
- 特別支援学校及び特別支援学級については、障がいの程度に応じて代筆も可とする。

### 4 募集期間

2019年5月7日（火）～5月20日（月）  
※切 5月20日（月）17:00必着（当館持ち込み可）

### 5 作品の送り先

〒901-0333  
糸満市摩文仁614番地の1  
沖縄県平和祈念資料館  
（電話：098-997-3844・  
FAX：098-997-3947）



## 「離島・遠隔地講師派遣事業」に名称を変更しました。

平成29年度に実施した「平和講話県内学校等講師派遣事業」が今年度（平成30年度）「離島・遠隔地講師派遣事業」と名称を変更し、当館の展示室見学において事前または事後学習として、講師が学校に出向き、平和講話を行うことができる取り組みを実施しています。対象校としては、沖縄県内の小・中・高等学校で所在地が離島または遠隔地にあって、当館での平和講話が受講困難等の条件がありますが、今年度は、名護市立真喜屋小学校、屋我地小学校、屋我地中学校が展示室見学の事前学習でこの事業を活用してくれました。

詳しいことは当館のHPや電話でお問い合わせ下さい。

（昨年度名護小学校での講話の様子）



### 大学連携事業について

当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を随時実施しています。

大学生のみなさん、大学生の視点で平和な社会を構築するために必要なものをともに考えてみませんか。

### 資料のご提供について

戦後74年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいませよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

### 資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、「実物資料」、「平和学習キット」の貸出しを行っています。平和学習の補助教材として、県内外学校からの申込みをお待ちしております。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947  
E-MAIL [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)

